

第2回Leading Edge Anti-Diabetes Forum(仮)

日時: 2015年2月13日(金) 19:20~

会場: ホテルオークラ神戸34F『星雲』

神戸市中央区波止場町2-1

TEL: 078-333-0111

Program

製品紹介

選択的DPP-4阻害剤 『スイニー錠 100mg』

選択的SGLT2阻害剤 『デベルザ錠 20mg』

興和創薬株式会社

Opening Remarks

神戸大学大学院医学研究科

糖尿病・内分泌内科学部門 講師 坂口 一彦 先生

基調講演 19:30-20:00

座長: 神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学部門

講師 坂口 一彦 先生

『グランプ法、OGTTから算出した臨床指標

~disposition index, glucose effectivenessも含めて~』

神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学部門

駒田 久子 先生

特別講演 20:00-21:00

座長: 神戸大学大学院医学研究科 糖尿病・内分泌内科学部門

講師 坂口 一彦 先生

『インスリン感受性・分泌能の評価と日常診療への応用』

自治医科大学 内科学講座 内分泌代謝学部門

准教授 長坂 昌一郎 先生

Closing Remarks

兵庫県立姫路循環器病センター

糖尿病・内分泌内科 医長 橋本 尚子 先生

※会終了後、情報交換の場を設けております。

主催: 興和創薬株式会社

特別講演 抄録

『インスリン感受性・分泌能の評価と日常診療への応用』

糖尿病の病態解析や治療上、個体のインスリン感受性や分泌能の評価は重要である。インスリン感受性や分泌能の評価として、古くから多くの方法が提唱されてきたが、簡便な指標ほど限界や問題点も多く、逆に複雑な指標ほど正確であるが、実地臨床上、施行困難である。

今回はインスリン感受性・分泌能の評価について現状をまとめ、また日常診療への応用についても触れたい。

自治医科大学 内科学講座 内分泌代謝学部門

准教授 長坂 昌一郎 先生